

嶺南土砂活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	高規格道路課	課長名	小川 裕樹
事業主体	県、市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R21 年度
事業実施方法	直営、補助										
補助率	50%										
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [9 100年に一度のまちづくり]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]					
北陸新幹線敦賀以西、舞鶴若狭自動車道4車線化の工事から発生する土砂の処分先が不足						舞鶴若狭自動車道4車線化の工事からは約370万m ³ の建設発生土が見込まれるが、受入可能性の高い箇所は約150万m ³ にとどまる					
[事業目的]											
北陸新幹線(敦賀・新大阪間)建設事業や舞鶴若狭自動車道4車線化事業が円滑に進むよう、課題となっている土砂を活用するために、市町が実施する土砂活用事業に対して支援することで、高速交通体系の整備を推進し、ひいては嶺南地域の地域振興に寄与する。											
[事業内容]											
(1) スtockヤード(残土処分場)整備事業調査費補助 [20,000千円] 圃場整備予定箇所などにおけるStockヤード整備構想において、市町が実現可能性を判断するのに必要な概算事業費算定等の調査に要する費用を、県が補助する。 【実施主体】市町 【補助率】50% 【R6要求箇所】小浜市2箇所											
(2) 土砂活用事業構想検討調査 [令和7年度以降要求] 県において、沿線市町と連携して、市場性のある事業構想を検討するとともに、今後必要となる手続きを整理し、測量や概略設計等を行うなど、土砂活用事業の構想を具体化するための調査を実施する。 【実施主体】県											
[受益者] 舞鶴若狭自動車道利用者						[想定される受益者数] 約6,800台/日					
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)				
市町との連携状況	・市町において、受入候補地における地元交渉や上物施設の基本コンセプト立案などを実施し、当事業を推進					他県の状況	・同種事業なし(受入地確保見込みであるため)				

嶺南土砂活用推進事業

主要事業への記載	<input type="checkbox"/>	計上段階	5年度	4年度	3年度	要求書	頁						
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	土木部	課名	高規格道路課	課長名	小川 裕樹		
事業主体	県、市町			事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度	R5 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R21 年度
事業実施方法	直営、補助				□ 法定受託事務			■ 補助金					
補助率	50%				□ その他								
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	20,000				20,000								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	令和6年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					33,907	20,000	市町からの要望に基づき予算要求している						
2月現計予算額の推移					33,907								
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	受入可能土量の確保（累計） （目標） 実績				(13) 56	(64)	(64)	(370)	当面、舞若道全線4車線化の工事から発生すると想定される約370万㎡（県推計）の確保を目指す				
活動指標	事業実施箇所数（累計） （目標） 実績				(4) 3	(5)	(5)	(16)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和6年度の変更点				事業評価					
関係市町との調整の結果、事業実施箇所は3箇所にとどまったが、市町が行うストックヤード整備事業への補助や公共事業（県営産業団地）の事業化により、成果指標を達成した。				令和5年度に実施した3箇所のストックヤード整備事業について、実現可能性が高まったことから、今後は条件等の具体化を進め、成果指標である「受入可能土量の確保」へとつなげていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	■ 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	13,907		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			